

1. 授業のねらい・概要

1年次の「会計学基礎」の次に、会計学の具体的な内容について学んでいく授業である。さきの「会計学基礎」では、会計学とはどのような学問なのか、またそれは社会においてどのように役立つのかなどを中心に、会計学の勉強の仕方を説明してきました。ここでの「会計学総論」は、企業会計の諸基準を中心に、会計が具体的にどのように行われるのかを解説する。例えば、企業会計原理、金融商品会計基準、連結会計基準、外貨換算基準、原価計算基準、監査基準などが具体的に要求する内容を平易に説明する。

2. 授業の進め方

下記の授業計画に従って、適宜、関係資料を配付して授業を進める。

3. 授業計画

1. 企業会計基準の概要（ガイダンス）	9. 固定資産の減損会計基準の内容
2. 企業会計原則の成り立ちとその内容	10. リース取引会計基準の内容
3. 一般原則の内容	11. 研究開発費等会計基準の内容
4. 損益計算書原則の内容	12. 退職給付会計基準の内容
5. 貸借対照表原則の内容	13. 連結会計基準の内容
6. 純資産表示基準の内容	14. 原価計算基準の内容
7. 金融商品会計基準の内容	15. 監査基準の内容
8. 棚卸資産評価会計基準の内容	

4. 到達目標

毎回の授業計画の課題に対して、その内容について言えることを到達目標とする。

5. 準備学習に必要な時間、又はそれに準ずる程度の具体的な学習内容

前回授業終了後に、次の授業で説明するテキストの箇所を指定するので、次の授業前までにその個所を見てくること。

6. 成績評価の方法・基準

期末試験の結果で評価する。ただし、授業態度を加味することがある。

7. テキスト・参考文献

中央経済社編『新版会計法規集』，中央経済社

8. 受講上の留意事項

会計ファイナンスコースを選択する希望する学生は必ず受講すること。また、この講座の後により詳細に専門的な説明を行う「財務会計論A・B」を受講しようとする学生も必ず受講すること。